

最初はうみごみについて知ろう!!

うみごみには大きく3つの種類があります。

1、**漂着ゴミ**・・・ゴミが潮の流れや波によって浜に打ち上げられたゴミのこと

2、**海底ゴミ**・・・海底に沈んでおり、堆積しているゴミのこと

3、**漂流ゴミ**・・・川にいたゴミが海に流れ着きただよい浮いているゴミのこと



うみごみで何が困る？

うみごみでは主に

海で生きている魚が困ってしまいます

- ・漂流ゴミなどでは、大量のゴミが浮いてしまい魚たちが泳ぎづらくなってしまう。
- ・スーパーの袋などを捨ててしまうと、亀などがクラゲだと勘違いしてしまい食べてしまう可能性があります。
- ・ペットボトルなどのプラスチックを食べてしまうと病気の原因にもなってしまいます。



ここで問題です

このままみごみを続けてしまうと「何年」にプラスチックのゴミの量が魚よりも多くなってしまうと言われているのでしょうか。

- 1、2060年
- 2、2100年
- 3、2050年
- 4、2040年

正解は

3の2050年でした

「このままだと2050年には魚よりもゴミの量が多くなってしまおう」という予想はWWFジャパンやパソナグループ、政府広報オンラインなどの調査結果から発表されているそうです。

うみごみを減らすためには

海岸や川のそうじも大切だけどそれだけではきれいになりません。→ゴミは決められた場所に出すこと・ゴミを出さない生活を心がけること・生活の中で3Rに取り組んでみるのが重要です。



RECYCABLE MATERIALS

まとめ

- ・**うみごみ**が増えてしまうと亀やいろいろな魚が困ってしまうということ
- ・このままだと2050年には魚よりもゴミの量が多くなってしまう可能性があるということ
- ・**うみごみ**を減らすには、ゴミは決められた場所に戻す・ゴミを出さない生活を心がける・生活の中で3Rに取り組んでみるということが重要だということ





これをきに
うみごみをしない・減らすために
頑張りましょう！